

越後佐渡おもひろ歴史ばなし

いつの時代も一喜一憂、球児の思い

いつの時代も高校球児にとって憧れの聖地、甲子園。

大正 4 年（1915）第 1 回全国中等学校野球優勝大会（現在の夏の甲子園大会）が豊中球場（大阪府豊中市）で開催されました。

その憧れの全国大会に新潟県から初出場したのが、長岡中学校（現在の長岡高校）です。

大正 7 年（1918）の第 4 回全国中等学校野球優勝大会に初出場してから、大正 11 年（1922）までの 4 年連続で全国大会に出場しています（第 4 回大会は米騒動で直前に中止）。

大正 8 年（1919）、北陸大会^{（注 1）}決勝で石川県師範学校（現在の金沢大学学校教育学類（旧教育学部）の前身）に 9 対 4 で勝ち優勝を決め、第 5 回全国中等学校野球優勝大会に駒を進めることになりました。その時の様子が、写真①です。全国大会出場に向けて出発前に選手の柳下氏が友人の平賀氏に宛てた手紙です。

「7 月 26 日出発、去る 3 日帰岡しました。御陰で再び優勝しました。又猛烈なる練習中、明日又大阪へ出陣するのです。（中略）大阪は 13 日から 5 日間、優勝は予期しません。一勝でもすれば、願足れりです。然かしはかない望みをかけれ（中略）勝つばその勝は技術じゃあ無い猛烈な練習と団結とにあるのです（後略）」

全国大会に出場するうれしい気持ちと全国大会初出場の不安な心情が吐露されています。

当時の新潟県の中等学校野球（高校野球）は、長岡中学をはじめ、新潟中学（現在の新潟高校）、高田中学（現在の高田高校）、新潟商業（現在の新潟商業高校）など、どこの学校でも野球部が創設されて熱を帯びてきた時代です。

長岡中学の全国大会での初めての試合となった第 5 回大会の 1 回戦は九州代表の小倉中学（現在の小倉高校）との対戦でした。長岡中学は北陸大会終了後 2 人の内野手が故障を起こし、不安な船出となりました。雨天で 1 日順延し、8 月 15 日に鳴尾球場^{（注 2）}で試合が開始されました。試合の序盤から小倉中学

は猛打爆発し大勢を決めます。長岡中学は 1 点を返すにとどまり 1 対 9 で敗れます。

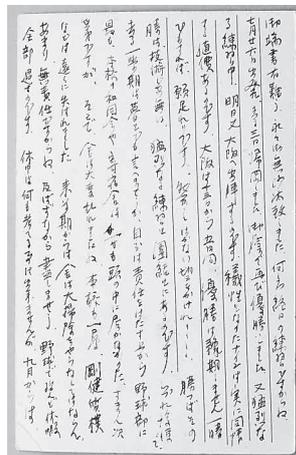
その試合のことを再び柳下氏は友人の平賀氏に手紙を宛てています（写真②）。

「大阪では敗軍の将気取りで帰りました。ベストを尽くしたんですが破られました。大阪に居られる先輩諸兄にも顔の会しようが無い位でした（後略）」大差での敗戦となり、責任を感じ嘆いています。

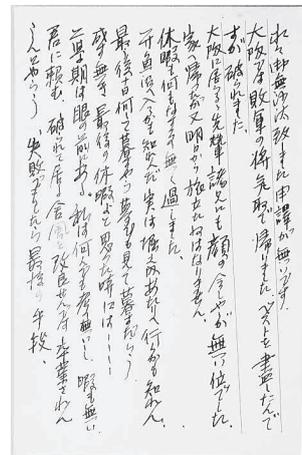
誰もが家族や地元、先輩方の期待を一身に受けて、大会に出場します。敗戦後、自分の力を発揮できなかった、期待に応えられなかったという思いが募るのはいつの時代も同じようです。

（注 1）北陸大会は、福井、石川、富山、新潟、長野からなり、優勝校が全国大会の出場を勝ち取ります。現在の北信越大会に当たる大会です。

（注 2）第 1 回、第 2 回大会は豊中球場（大阪府豊中市。現在は跡地には記念公園）。第 3 回大会～第 9 回大会まで鳴尾球場（兵庫県西宮市。現在は跡地にはモニュメントがあり、それには中止となった第 4 回大会出場校名に長岡中、第 9 回大会トーナメント表には新潟商業の名前があります）。第 10 回大会から甲子園球場で開催されています。



【写真①】
（請求記号 E9501 594-77）



【写真②】
（請求記号 E9501 594-82）

令和2年度企画展 紹介

テーマを決めて所蔵資料を紹介する企画展を、2階の閲覧室及び1階のエントランスホールにおいて、約2か月ごとに行っています。今年度実施した企画展を紹介します。

○第1回 「はじめての特定歴史公文書」

〔5月26日(火)から6月28日(日)まで〕

今年4月より特定歴史公文書の利用制度が開始されました。あまり馴染みのない公文書について、その一部を紹介しました。

○第2回 「教えて！古文書先生!!」

〔6月30日(火)から8月30日(日)まで〕

今年度4回にわたり、江戸時代の子どもたちが勉強に使った資料を教材に、古文書解読のために必要なポイントを紹介する予定です。「1時間目」として、古文書の形と用途・古文書のなりたちなどの「古文書解読の基礎知識」を紹介しました。

○第3回 「流行り病との戦い—近世編—」〔9月1日(火)から10月25日(日)まで〕

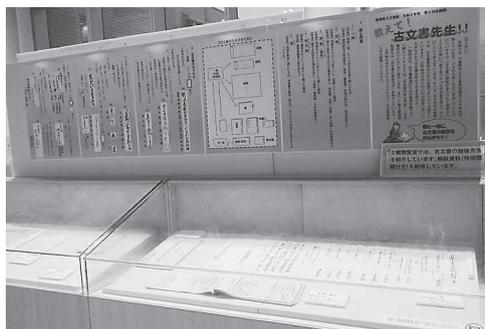
世界中で、新型コロナウイルスによる感染症が大流行していることを受け、江戸時代に流行したコレラ、^{ほうそう} 疱瘡(天然痘)、^{ほしか} 麻疹を取り上げました。これらの感染症に直面した当時の人々が、どのように戦ってきたのか、その歴史を紹介しました。

11月以降は、「教えて！古文書先生!!」の2時間目から4時間目までを予定しています。江戸時代の子どもになったつもりで、古文書解読に挑戦してください。

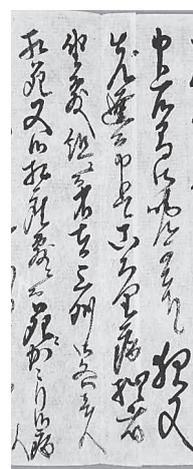
○第4回 教えて！古文書先生!! 2時間目〔11月17日(火)から12月27日(日)まで〕

○第5回 教えて！古文書先生!! 3時間目〔1月5日(火)から2月28日(日)まで〕

○第6回 教えて！古文書先生!! 4時間目〔3月2日(火)から4月25日(日)まで〕



第2回企画展 1階エントランスホール



第3回企画展 展示資料
【書状】一件吟味の模様及び同宿者コレラにて死亡等通知
(請求記号：E9901-52-18-19)

令和2年度特別企画展 THE公文書—語り継がれる歴史— 開催案内

新潟県では、公文書を「県民共有の知的資源」と位置付け、令和元年10月に「新潟県公文書の管理に関する条例」を制定しました。公文書に記録されているのは、後世に語り継がなければならない『人びとの歩み』です。江戸時代以降の公文書から、新潟県の歴史の一部を紹介します。

期日：10月27日(火)～11月8日(日)

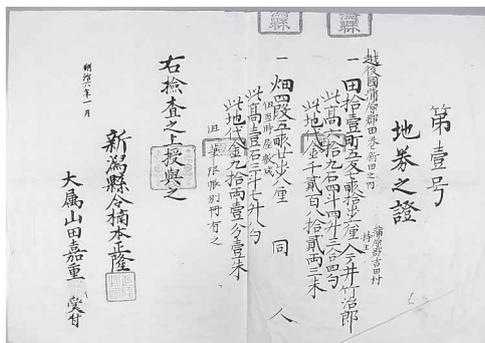
連動企画として〈特別企画展解説講座〉を開催します。

日時：10月28日(水)、11月4日(水) 13時30分～14時30分

※両日ともに同一内容、要事前申込

特別企画展をより楽しんでいただくため、展示資料や歴史的背景などについて、文書館職員が解説します。

また、「流行り病との戦い—近代編—」を同時開催します。明治時代のコレラと大正時代のスペイン風邪の流行に関する資料を展示する予定です。

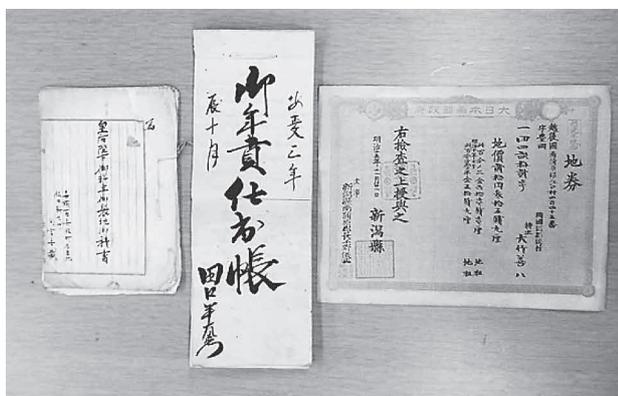


展示資料
【田巻新田地券之證・第壹号】
(請求記号：E9708-12-2-2)

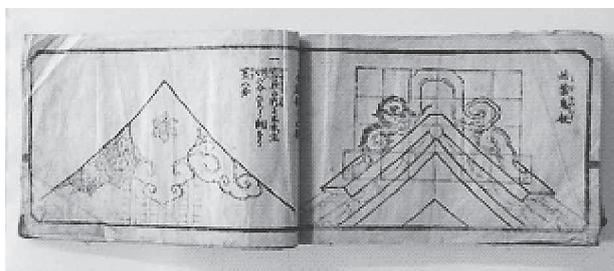
令和元年度までに閲覧可能となった受贈文書

○令和元年度より、新たに閲覧可能となった受贈文書を紹介します。

請求記号	文書名	概要
E0806-3	越後各地文書 (岩船郡内須川村加藤家文書)	明治15年から明治21年までの内須川村の地券。138点。
E0806-6	越後各地文書 (明治前期県治報知)	明治前期の県治報知。明治4年～明治19年、779点。明治13年以降のホ号は、文書館の複製資料に収録されていないものであり、補完する役割を担うものといえる。
E1704	三島郡烏雲新田関係文書ほか	元禄4年～大正12年、253点。三島郡烏雲新田に関係する文書が大部分を占める収集資料。資料は大きく4種類に分けられ、烏雲新田(現長岡市)、上見木村(現燕市)、江口村(現三条市)、その他で構成される。烏雲新田の村経営の歴史を知る上で貴重な資料である。
E1803	新潟県佐渡郡加茂村調査報告	昭和5年、1点。同年に行われた新潟県佐渡郡加茂村の椿、北五十里地区の農村調査をまとめた報告書。
E1906	昭和戦前小学校関係文書	昭和14年～昭和20年、1点。月に一度、天皇などの御影の確認を学校長が行っていた記録。
E1907	中蒲原郡茨曾根村田中家文書	近世、『雑工雛形』『浄土三部経』2点。田中家は、江戸時代に茨曾根村で宮大工をしていた。『雑工雛形』は屋根の細工に関する絵が書かれており、建築の際に参考にされたようだ。



左 【皇后陛下御料車御裂地御積書】
(請求記号：E1704-210-1)
中 【御年貢仕出帳】(請求記号：E1704-120)
右 【江口村の地券】(請求記号：E1704-186)



【雑工雛型】(請求記号：E1907-1)

※速報※ 以下の資料も閲覧可能となりました！(令和2年8月現在)

- E1007 北蒲原郡本田村医家渡邊家文書(727点)
- E1604 中魚沼郡川治村松澤家文書(555点)
- E2001 旧柏崎市村山家屏風下張文書(114点)
- F64 北魚沼郡堀之内組大庄屋宮家文書(約2800点)
- F94 西蒲原郡打越村漆山村水利関係絵図(21点)

…………… 令和2年度 10月以降の主催講座一覧 ……………

○古文書講座

講座名	日程	会場	定員	申込開始日
はじめての古文書講座（秋季）	11/11・18・25（水）	制作演習室	15名（予定）	10/9（金）
古文書初級解説講座（冬季）	A：12/2・9（水） B：12/4・11（金）	大研修室	各24名（予定）	各コースとも 10/30（金）
古文書解説講座（冬季）	2/10・17（水）	大研修室	24名（予定）	1/8（金）

※時間はすべて13：30～15：30の2時間です。 ※テキスト代として100円が必要です。
 ※古文書初級解説講座（冬季）については、A・Bコースともに同一内容です。
 ※各講座の定員は新型コロナウイルスの感染状況により変更する可能性があります。

○「新潟県の歴史」講座

歴史講座	講座回	日程	会場	定員	申込開始日
	第2回	3/6（土）	ホール	未定	2/5（金）

※講師は県内外の歴史研究者を予定しています。 ※時間は13：30～15：30の2時間です。
 ※定員は新型コロナウイルスの感染状況により後日決定いたします。

○特別企画展解説講座

コース	日程	会場	定員	申込開始日
Aコース	10/28（水）	大研修室	24名（予定）	各コースとも 9/25（金）
Bコース	11/4（水）	大研修室	24名（予定）	

※A・Bコースともに同一内容です。 ※時間はいずれも13：30～14：30の1時間です。
 ※定員は新型コロナウイルスの感染状況により変更する可能性があります。

アーキビスト 文書館職員随想

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館が3月3日から続きましたが、感染防止対策を講じた上で、5月19日に閲覧室の利用を再開しました。

臨時休館中ではありましたが、4月1日に新潟県公文書の管理に関する条例が施行され、教育委員会の機関である当館内に、知事部局の総務管理部法務文書課歴史公文書室が設置されました。条例施行に伴い、特定歴史公文書（実施機関から知事に移管された歴史公文書）の閲覧を希望する際に受付に提出する用紙が、「特定歴史公文書簡易閲覧申込書」（利用制限のない文書）と「特定歴史公文書利用請求書」（利用制限のある文書）に変更となりました。なお、古文書や複製新聞等の閲覧請求用紙は従来のものと変更ありません。

以前から当館で公文書を閲覧されていた方にとっては、最初は戸惑う部分もあるかもしれませんが、利用制限のない特定歴史公文書については、これまでどおり即日文書を閲覧することができます。また、利用制限のある特定歴史公文書についても、条例上利用請求ができ、条例の範囲内で閲覧できるように

なりました。特定歴史公文書の利用に際して不明な点がありましたら、遠慮なく職員にお問合せください。

最後に、当館主催の各種講座についてですが、密集や密接を回避して皆様の安心安全を確保するため、予定していた定員を大幅に減らして募集・開催をしています。そのため、申込み受付開始後、数日で定員に達することもあるかと思いますが、ご理解くださるようお願いいたします。

利用者の皆様におかれましては、これまで同様、閲覧室入室時の手指消毒、マスクの着用、長時間のご利用を控えていただく等、引き続き感染拡大防止にご理解とご協力をお願いします。 【小日向記】

編集・発行 **新潟県立文書館**
 〒950-8602 新潟市中央区女池南3丁目1番2号
 TEL 025-284-6011 FAX 025-284-8737
 URL https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/?page_id=569
 E-mail archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp